

経営後継者研修だより

6月のトピック 研修の総まとめ、「経営総合実習」に取り組みました。

5月31日、6月3日～17日の12日間にわたって「経営総合実習（以下、当実習）」を行いました。「これまでの講義、演習等を通じて修得してきた経営の各分野にわたる知識を、実際の企業での実習を通じて総合的・系統的に理解し直すとともに、既に修得した理論や技法を実際の経営活動に応用させて活用する能力を体得すること」が当実習の目的です。実習では、研修生が3班（製造業2社、卸売業1社）にわかれ、実習先企業（以下、実習先）の経営実態を調査・分析し、「もし、この班で実習先の経営をすれば」という視点で、実習先の今後のあるべき姿を描き、具体的な戦略提案を行いました。実習先の課題を自社に置き換えたならどう解決するか、自分事として捉え、実習先をよりよくするためのプランを考えました。実習先からは「とてもよい気づきを与えてもらった」「提案内容を取り入れたい」といった声があり、これまでの学びの成果が実ったようでした。

今回は「経営総合実習」の感想について、広報委員の4名に伺いました。

経営総合実習

私達のグループは、今回建材を取り扱っている会社で実習を行いました。実習企業で社長様を含めた各事業部門の従業員の方にヒアリングをさせて頂くことや、倉庫見学等をさせて頂きまして、そこから得た情報を元に9か月間で学んだフレームワークを活かした改善提案を作成して発表しました。この研修を通して自社で活かせると思ったことは、分析をするときには手に入れたデータや資料を「人、モノ、金、情報」で分類分けして分析することで、課題抽出とそこから出てきた改善提案の抜け漏れを防ぐことが出来るという手法を学べた事です。【三峰電気株式会社 澤田知紘】

これまで座学で学んだことを活かし、実際の企業様の状況を伺って改善提案をさせて頂きました。情報量が多い中、短時間でチームの考えをまとめることは大変でしたが、改めて【目的】や【検討の原点】に立ち戻ることの重要性を感じました。自社の会議でも共通目的や意識という軸をしっかりとぶらさないようにしたいと思います。また、役割分担を明確にすることで効率化は図れますが、情報共有がないと一人一人の方向性が合わなくなってしまうことも実感しました。意思疎通・報連相は、結局チームで動く上では一番大事なことになりますので、当たり前のことこそ丁寧に行っていきたいと思います。

【富士見工業株式会社 山本縁】



実習先でのヒアリング調査の様子です。



付箋を使いながら情報を整理しています。



実習の成果報告会の様子です。

経営総合実習

全体的な所感として、今までの研修で学んだほぼ全ての分析（沿革分析・業務分析・財務分析・人的資源分析・リスクマネジメント分析・経営戦略分析）が反映されていました。完成した報告書を読み返した時、自社にも適用していきたい内容となっていました。特に経営資源における「人・情報」の部分の強化は非常に重要だと再認識できました。そして、受入先企業様の工場見学後に研修生同士で意見交換をすることで、安全・品質・効率化など様々な観点からお互いの気づきを共有出来たことも大変貴重な学びとなりました。【株式会社昭栄 黒田智隆】

お茶を製造・販売されている企業様にご協力いただき、この経営戦略や営業戦略などをご提案しました。経営データを拝見させていただき、実際に訪問させていただいて内部調査・ヒアリングなどで細部までオープンにさせていただくことになりましたが、ご協力ご対応いただいたことに感謝しております。9か月程度の学びで経営の経験もない研修生のご提案となってしまったのは事実ですが、各自が期間で学んだことを活かし細かく分析を行い、先方がもっともっと良くなるようにと思いながら取り組ませていただきました。企業様にご納得していただける内容のご提案ができたと思っています。今後は自身が自社に対して学びを活かさなければなりません。この気持ちが一層強まる実習になりました。

【竹下産業株式会社 竹下将広】

INFORMATION

東京校 企業研修課からのお知らせ

第44期経営後継者研修について

2022年10月から募集開始予定です。募集関係資料送付をご希望される方は以下のフォームからその旨ご連絡いただきますよう、よろしくお願いいたします。第44期経営後継者研修の募集関係資料が完成次第、ご郵送いたします。

https://www.smrj.go.jp/contact/tokyo_02/index.php